

## 大正橋開通式

県道小川停車場線の権津川にかかる大正橋の開通式が12月26日、橋北側路上で開催されました。

式典は大正橋開通式実行委員会（守谷次男委員長）主催により行われ、委員長は「大正橋は日々の生活を支える大切な橋である。沿線地域の振興と発展に寄与することと思う」とあいさつ。その後、烏山土木事務所長、那珂川町長、地元県議会議員などの祝辞がありました。

渡り初め式として関係者が交通安全を祈願し、テープカットを行いました。地元お囃子会の太鼓が鳴り響く中、約80人の参列者が大正橋の通り初めを行ない、橋の完成を祝いました。



## 「作業所ポニー」「うぐいす工房」の通所者がそば打ち体験

毎年恒例の「作業所ポニー」と「うぐいす工房」通所者16名が12月18日、ふるさとの森公園内の「ふれあいの舎」で新そばを使ったそば打ちに挑戦しました。今年は初めて「作業所ポニー」の通所者6名が参加し、にぎやかなそば打ちになりました。

ふれあいの舎利用組合（杉山勝組合長）の指導により、そばの伸ばし方や切り方などの作業を体験しました。思ったより難しい様子でしたが、自分たちで打った新そばの味を存分に味わいました。

## 『牛丼おいしかった』

### 那珂川町産とちぎ和牛で

11月29日、町内の各小中学校で那珂川町産の牛肉を使った牛丼が学校給食として出されました。

これは、牛肉の消費拡大と品質向上などを目的に今年から那珂川牛振興対策事業として行なわれたものです。

給食に出された牛肉は、黒毛和種（和牛）で枝肉規格A4にランクされ、サシ（脂肪交雑）の入った霜降り牛で、国内高級和牛にも劣らない高級な牛肉として近年高い評価を受けています。

健武小学校では、親子給食が行なわれ、参加した親子は「こんなおいしい給食は初めて。また食べたい」と話していました。



## ボーイスカウト那須第2団などが「クリーン作戦2006」を実施

馬頭小川ロータリークラブでは11月26日、ボーイスカウト那須第2団の隊員など15人の協同による「クリーン作戦2006」を実施しました。

「道の駅ばとう」から国道293号を西に向かって小川神田町の交差点までの約4kmの道路や河川に散乱するごみを拾い集めました。

参加した隊員たちはジュースの空き缶やびんなどのごみを約2時間半かけて拾い、心地よい汗を流しました。

愛荘町の村西町長が来町

去る12月14日、旧馬頭町と交流のあった旧秦荘町（現在、愛知川町と合併し愛荘町）の村西俊雄町長が来町し、川崎町長と今後の交流について意見を交わしました。

川崎町長は、「両町とも財政の厳しい状況下ではあるが、今まで同様交流を続けていきたい」と話し、村西町長もこれに同意しました。



ハンドメイドおがわ フェスティバル

15回を迎えたハンドメイドおがわフェスティバルが12月10日、ふるさとの森公園内の匠の館で開催され、町内外から訪れた買い手客でにぎわいました。

「ハンドメイドおがわ」は手作りの作品を安価で提供しようと組織したグループで、1年間かけて製作した様々な作品を販売しました。

買い手客は、パッチワークのバッグや焼き物、手作りまんじゅう、花などを手に取って、品定めをしていました。



親子ふれあいコンサート

毎年恒例の親子ふれあいコンサートが12月17日、小川総合福祉センターあじさいホールで開催され、たくさんのお親子連れなどでにぎわいました。

このコンサートは教育委員会と家庭教育オペニオンリーダーやジュニアボランティアアズクラブが親子で音楽を楽しんでもらおうと計画したものです。今年にはマッキーとてる坊の保育者ユニット「しゃぼん玉」を招いて、「あそびライブ」を行いました。

藤田教育長は「今日は家族とともに、楽しい時間を共有していただければ」とあいさつ。

約200名の観客はしゃぼん玉の歌いながら遊ぶ伝承あそびやリズム体操などを楽しみました。



馬頭小川ロータリークラブが町福祉まつり実行委員会に寄付

馬頭小川ロータリークラブ（高野雅文会長）は12月13日、町福祉まつり実行委員会へ10万円を寄付しました。

この寄付金は、10月21日に小川総合福祉センターで開催された第1回那珂川町福祉まつりで得たフリーマーケット収益金の一部です。

高野会長は「ロータリークラブを理解していただき、福祉に役立ててもらえれば」と話していました。

また、同クラブでは、会員を募集しています。入会希望の方は会長の高野雅文さんまで

☎0287-9212603